

★ ★ JRKU  
★ ★  
第67号

# JR九州ユニオン

福岡市博多区博多駅東2丁目13-21  
GSハイム博多805号  
TEL 092-415-4377  
FAX 092-415-4399  
発行人 縫 和 彦  
編集人 田 中 勇



## 謹賀新年

本年もよろしくお願ひ申し上げます



縫 和彦

中央執行委員長

組合員、ご家族の皆さん、新年あけましておめでとうござい  
ます。

どうぞ今年もよろしくお願ひ  
します。

プーチンによるウクライナ侵  
攻から10ヵ月が経過しまし  
た。何の罪のない多くの方々の  
尊い命が奪われ、極寒のなか戦  
禍に佇む人々に対して、何もで  
きない自分に苛立ちつつ一日も  
早くこの戦争が終わる事を願っ  
てやみません。

各国の権力者たちは「他者を  
批判し自己を正当化」すること  
で「自らの権力を強化」し「独  
善的政策（政治）」を強行して  
います。その行くつく先は、己  
の栄華なのでしょう。私には  
単なるエゴであり、地球・環境  
破壊にしか思えません。

昨年7月の参議院議員選挙  
は、連合による「野党共闘」破  
壊の中、自民党の過半数獲得と  
なりました。連合の存在は、も  
はや反動的とも言えます。

安倍・菅政権のもと、約9年  
に亘り「数の力」を背景に、国  
民も国会も無視した政治が進め  
られました。

私たちは、そんな「政治」と  
の訣別を望み聞きました。安  
倍・菅路線を継承した岸田政権  
による「軍事大国化」と「改

憲」に向けた動向を警戒して行  
かなければなりません。

JR九州は、徹底した経費削  
減・大合理化を強行していま  
す。昨秋のダイヤ改正では、減  
便・ワンマン運転両数の拡大に  
より、お客さまが連日乗り切れ  
ない状況が延々と続いています。

その状況に対して「増結す  
る車両が無い、人（車掌）がい  
ない」「お客さまが不慣れなた  
め、しばらくすれば落ち着く」  
と、自らの施策の失敗を省みる  
ことなく、お客さまを切り捨て  
るような会社の対応に怒りを禁  
じ得ません。

この会社はどこを目指してい  
るのでしょうか。もはや公共交  
通という使命も責任もかなぐり  
捨て、利潤のみを追求する「金  
儲け企業」へ変質しています。  
一方で株主優遇政策を押し進  
め、社員にはいっさい還元しな  
い現状に、社員のモチベーション  
もガタ落ちし、若い社員の離  
職は今も続いています。

私たちは労働組合として、社  
員の不満や声を会社にぶつけ、  
改善の闘いを更に押し進めてい  
きたいと思えます。

九州令和豪雨から1年半が経  
過しました。現地の方々はとて  
も優しく私たちを受け入れて下  
さいました。本当に感謝してい  
ます。これからも機会ある度に  
連携していきたいと思えます。  
肥薩線復旧対策会議が3回ほど

開催されています。相変わらず  
JR九州の姿勢は頑です。年間  
9億円の赤字補填を地域・自治  
体に求め、鉄道による復旧を望  
んでいる地域の皆さんの思いと  
はかけ離れています。

私たちは、JR九州が「公共  
交通機関」として、地域の皆さ  
んとともに「地域公共交通」と  
しての鉄道を再生していけるよ  
うに努力していきたいと思いま  
す。

それが地域に根差した企業と  
しての社会的使命だと思いま  
す。  
最近のJR九州の施策は、減  
便・両数削減、お客さまの声も  
聴かない、会社都合の施策を強  
行しています。お客さまは勿論  
のこと、社員すら大事にしない  
企業に、明るい兆しは見えてこ  
ないと思えます。すべての施策  
が、本社からの上意下達主義で  
あり、現場の意見や声が反映さ  
れてこそ、お客さまの笑顔と社  
員の働き甲斐も生まれと思いま  
す。

私たちは労働組合として、地  
域の皆さまやお客さま、そして  
社員の声を、これからも代弁し  
ていきたいと思えます。

嘱託再雇用社員の賃金・労働  
条件の改善を求め損害賠償施請  
求裁判を提訴してから1年が経  
過しようとしています。この裁  
判には、ユニオン組合員のみな

らず、他労組組合員と未加入の社員も快く決意してくださいました。2月6日には第6回口頭弁論が行われます。双方も主張は概ね書面上では論点整理が成されたと私自身も思っています。

2020年4月のパートタイム・有期雇用労働法が施行され2年が経過したなかで新たな裁判として、今後の推移に注目しながら決意して闘っている15名の訴訟団をしつかりと支えていきたいと思えます。

他労組組合員の皆さんも非常に関心を示してくれています。これからも、多くの社員の皆さんと理解と共感を勝ち取りながら取組を進めていきたいと思えます。

一方で、政治も労働組合も、戦前回帰の動向に進んでいるような気がしてなりません。

私たちは、微力ながらも、しつかりと声を上げ、職場や地域から、さまざまな運動を創造していきたいと思えます。

今年も、平和・安全・環境・人権問題など、さまざまな取り組みを通して、多くの方々と連携しながらもに進んでいきたいと思えます。

更に、断固として憲法改悪を許してはならないと思えます。

JR九州ユニオンは、今年も多くの方々と「繋がる・広がる」運動を展開していきます。私たちは、労働組合の使命と責務を自覚し、組織の内外に積極的に発信し、あたり前の労働運動を残し、平和で安全・安心

な社会を実現していきたいと思えます。本部は、今年も各地に足を運び皆さんとともにユニオン運動を推進していきます。本年もどうぞよろしくお願いたします。



岩谷文之

中央本部書記長

あけましておめでとうございませす。令和4年の漢字は「戦」が選ばれました。昨年はロシアのウクライナ

侵攻など、まさに戦の一年でした。日本でも防衛費増や敵基地攻撃能力の保有など、戦争政策が一気に進め

られよとしています。全ての戦争と戦争政策に反対する立場を明確にし、戦争政策に反対する方々と手を携えなければならぬと感じています。

コロナ禍を口実とした経費削減だけの経営施策で、不便な鉄道となり、安全が軽視され、働く場が奪われました。利用者が減り、また減便するという「悪環境」に陥りかねま

せん。全ての人が、安全で便利に利用できる、社員にもやさしい「人にやさしい鉄道」を目指しましょう。

嘱託再雇用社員の労働条件の改善や人事・賃金制度改定など、課題は山積しています。「共に動く」運動を作り出し大きな運動としましょう。

先頭で奮闘することを決意し、新年のあいさつとします。

村上一弘

大分地本書記長

新年明けましておめでとうございませす。昨年は、コロナ禍で制限がかかる中、組合員とそして闘う仲間と共に

運動を進めて参りました。嘱託再雇用社員の労働条件改善の取り組みは訴訟に踏み切り、今年は大詰めを迎えようとしています。

ダイヤ改正の度に効率化が強行されています。駅の無人化やワンマン

両数の拡大で利用しにくいJRになっていきます。私たちは、引き続き諦めること無く問題点の改善をお行い、働く側も利用する側も安心して



乗れる環境を整える必要があります。

春には統一地方選があります。大分地本は県議会議員選挙で『守永信幸』再選を目指して友誼単産の仲間と協力して闘います。

課題は山積しておりますが、組合員と闘う仲間と一緒に取組を進めて参ります。本年もどうぞよろしくお願いたします。



池田隆徳

長崎地本書記長

組合員、家族の皆さん、新年あけましておめでとうございませす。

ここ数年の会社による安全無視、労働者無視、お客さま無視の効率化は凄まじいものがあり恐怖さえ感じ

ます。長崎では、昨年9月23日のダイヤ改正で西九州新幹線は華々しく開業しました。しかし、その陰で

在来線車掌の廃止、全列車のワンマン化、そして佐世保運輸センターの長崎総合乗務センターへの統合による基地の廃止が行われました。職場では運転士の業務量も増え疲弊し「不平」「不満」が漏れ出ています。

今こそ職場運動を軸に全組合員で「共に動く」運動を展開していく時だと思えます。

今後更なる効率化が推し進められてくると予想されますが、怯むことなく闘い抜いていきます。



渡辺一彦

鹿児島地本書記長

新年あけましておめでとうござい  
ます。

昨年「コロナウイルス感染」に翻弄され組合行事の中止、縮小等で組合員の方々には大変ご迷惑をかけました。今年こそは、これまで出来なかつた集会、レクレーション等を開催し親睦を深めていきたいと思いません。

ロシアのウクライナ侵攻は、今年2月で1年になります。この侵攻は、世界に強い衝撃を与え現在も戦闘が続く民間人を含め多くの方が犠牲になっていきます。中国の軍事力強化や北朝鮮の相次ぐミサイル発射など日本を取り巻く安全保障環境の悪化を理由に政府は、防衛力強化の為に増税1兆円、安保関連3文書を改定し閣議決定しました。私たちは、国民の命を危険にさらす憲法破壊の軍備増強に断固反対していかねばなりません。

「嘱託再雇用社員の労働条件改善」「人にやさしい鉄道づくり」「職場問題」等、何らかと課題が多いですが、有意義な一年を皆さんとつくっていきましょう！  
今年もよろしく願います。



下山明彦

熊本地本書記長

新年あけましておめでとうござい  
ます。

2022年9月強行実施されたダイヤ改正によって、熊本地本組合員の車掌3名に対し転職、退職の攻撃がなされました。地本はワンマン両数拡大反対の運動をすることから、車掌職場を残そうとしましたが、労組の妥結により、遠距離通勤を強いられ心苦しいと思います。

今年はいよいよ、軍事大国化を実現するため、様々な、動きが活発に起きようとしています。私たちは、子供、孫たちに平和のありがたみを教えながら、戦争政策に反対する仲間と連携しながら運動をしていきま

す。  
会社はコロナを口実に経費削減を言ってきますが、社員のやる気を生み出すのは賃金であることから、「共に動く」春の闘いを勝利しましょう。

岩崎正登

小倉支部書記長

謹賀新年。昨年コロナ禍で収束が見えない一年でしたが、早く落ち着くのを望みます。

JR九州においては、9月に華々しく開通した西九州新幹線とは対照に、効率化施策による駅の無人化の拡大、日豊本線6両ワンマン導入、列車本数・両数の減により、お客さまへの安全・安心・サービスの低下が露骨にあらわれた年でもありました。

社会経済においては、ロシアのウクライナ侵攻をうけ、世界情勢の悪化による原油の高騰、円安、物価上昇により、賃金・手当は上がり、家計への負担は増すばかりであり、若年層の社員の離職も後は絶ちませんでした。

今年も年明け早々、食料品・日用品の値上げのラッシュです。  
効率化施策においては、駅の旅行の窓口の廃止等により、お客さまへのサービスの低下、社員に対しては業務の負担が懸念されます。

今年一年の抱負として、鉄道を基軸に働きがいある職場環境創り、お客さまが安全・安心して利用して頂

ける鉄道を目指し、そのためには、家族が支えであり、社員のモチベーションを上げるためにも、賃金・手当の底上げが必要不可欠であり、春闘は満額獲得に向けた取り組みを  
実現します。

今年も私も60歳になる年となります。嘱託社員の先輩達の仲間入りとなりますが、賃金アンケートでもあげられましたが、やはり賃金・手当が安く退職金を切り崩しての苦しみの、生活の声を聞きことが出来ました。

今行われている嘱託裁判は、今後の若い世代でもいつかは迎える時期が来るのであり後輩達のためにも今後も連帯して勝利する覚悟で臨みます。





大和敬之郎

直方支部書記長

新年あけましておめでどうござい  
ます。

世界中で猛威を振るっている新型  
コロナウイルスは私たちの生活や経  
済に莫大な影響を及ぼし世界は深く  
傷つきました。そして、経済は大恐  
慌以来の最悪の状況に陥りました。

いまだに終息の兆しが見えず不安  
な日々が続いていますが一日でも早  
く安心した生活が日が訪れること  
願うばかりです。

そのような中、これまでの概念や  
価値観が一変し経済や社会、そして  
私たちの暮らし方、働き方が大きく  
変わろうとしています。しかし、い  
かなる状況下においても私たちユニ  
オンは「人」を中心に据えて雇用の  
維持、安心して働ける取り組みを強  
化していきました。そして、これら  
の行動や発言は他労組の方々に多大  
な影響を与えるものとなりました。

これだけ物価が上昇していると社  
員の生活を守るために賃上げする必  
要があります。一時金は一時金でし  
かなくベアをやるべきです。

2023年も皆様にとつて実り多  
い年になることをご祈念申し上げます。



小林幸浩

博多支部書記長

組合員の皆さま謹んで新春をお祝  
い申し上げます。今年もどうぞよろ  
しく願います。

博多支部は、職場に労働運動を残  
すという目的を持ち、見える運動を  
職場で展開しつつ、組織の強化と拡  
大にも取り組んで来ました。

さらにはいろいろな場面において  
も要求創りを実践して来ました。  
しかし、コロナ禍においては皆で  
集まることも容易ではありませんで  
した。コロナが終息しない今、with  
コロナと共に今後の支部の運動を全  
員が取り組んでいくこととします。

2023年は会社の要員削減攻撃  
によって幸か不幸か車掌区に3名の  
仲間が増え、合計16名が跳ねれる  
ことができるように邁進してまいり  
ます。

皆様お体には充分留意なされて業  
務に運動に頑張りましょう。

藤本和彦

唐津支部書記長

新年あけましておめでどうござい  
ます。今年もよろしく願います。

昨年は3年ぶりに「反原発唐津集  
会」を開催することが出来ました。  
原発は人間の手で制御できるもの  
ではありません。そして戦争の標的  
となり得る場所です。また自然災害や  
原発事故で福島のような悲惨な状  
態を二度と繰り返さないために、本  
年も本部や玄海原発プルサーマルと全  
基を止める裁判の会と共に闘いを進  
めて行かなければなりません。

また筑肥線(伊万里方面)の赤字  
路線が新聞紙上でも取り上げられま  
した。私たちは仕事と職場を守る闘  
いを伊藤唐津市議と共闘しながら、  
職場の仲間、ユニオンの仲間と共に  
ユニオン運動を進めて行きます。  
共に頑張りましょう。

木原茂信

南福岡支部書記長

新年あけましておめでどうござい  
ます。

今年は、二つの課題に取り組んで  
いきます!

会社は、9月23日ダイヤ改正で  
大幅な人員削減と経費削減を実施し  
ました。その結果ワンマン両数の拡  
大、無人駅や清掃下請け削減によ  
り、乗務員に多大なサービス労働  
(方転・清掃・トイレットパー

交換)を課せられ、ワンマンの安全  
問題に対しても設備投資をしない会  
社に怒り心頭です。現場交渉も含め  
全組合員で声を上げ、他労組にも賛  
同を呼びかけ、今後も改善要求に取  
り組んでいきます。

嘱託再雇用社員の損害賠償裁判の取  
り組みは、他労組にも反響があり、  
「特休の増」は大きな労働条件改善  
の成果であり、今後も電話行動など  
を行い更なる展開を期待して、裁判  
の行方を全組合員で支えて行きます  
ので宜しくお願いします。

中央執行委員会

執行委員長	縫 和彦
執行副委員長	中 江 一 貴
書記長	嬉 野 正 行
中央執行委員	岩 谷 文 之
草 柳 昌 二	田 中 勇
花 牟 禮 聡	上 田 年 美
島 田 正 晴	中 村 可 孝
中 村 逸 郎	村 口 康
岩 崎 正 登	池 田 亨
会計監査委員	池 田 亨

